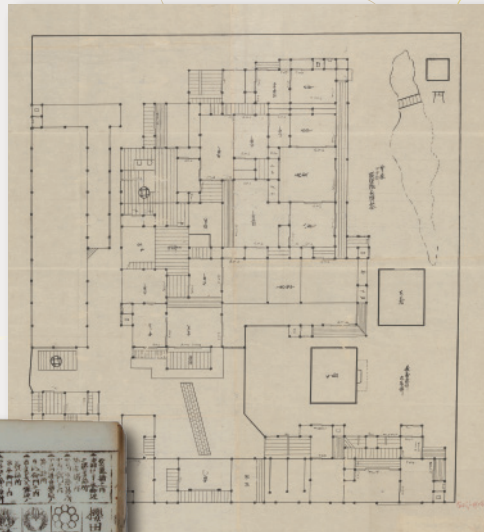


旗本のライフスタイル

家と仕事と私

珍—江戸時代の屋敷図

大久保九郎兵衛屋敷絵図



文化六己巳御役武鑑

旗本の必需品!



武家必冊 青標紙 完



寛政風憲肖像 (国立公文書館所蔵)

旗本の日記

曲淵日記



展示の詳細はこちらから

令和5年

7月21日(金) ~ 9月14日(木)

入場無料

東京都公文書館「企画展示室」

9:00 ~ 17:00 (入場受付 16:30 まで)

* 休館日: 日曜日、祝日及び第3水曜日

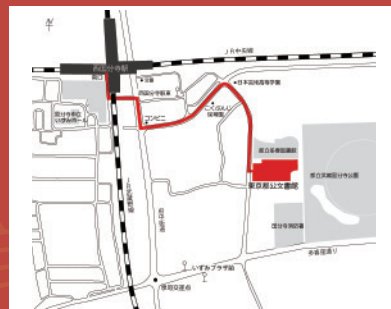


東京都公文書館
TOKYO METROPOLITAN ARCHIVES

〒185-0024 東京都国分寺市泉町 2-2-21
TEL: 042-313-8450

<アクセス>

JR 中央線・武蔵野線「西国分寺」駅 徒歩 8 分
京王バス: 寺 85 系統「いずみプラザ前」 徒歩 4 分
ぶんバス: 万葉・けやきルート、北町ルート、日吉町ルート「西国分寺駅東」 徒歩 5 分
ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。車、バイクで来られる方は近隣の駐車場をご利用ください。
なお、身体障害者用の駐車スペースをご用意していますので、ご利用の際は事前にお問い合わせください。
自転車は、駐輪スペースをご利用ください。



江戸時代、将軍直属の家臣の内、将軍にお目見えすることができる格の者を旗本と称していました。町奉行、勘定奉行、目付、火附盗賊改といった幕府行政を支える役職も、旗本が就任するものでした。

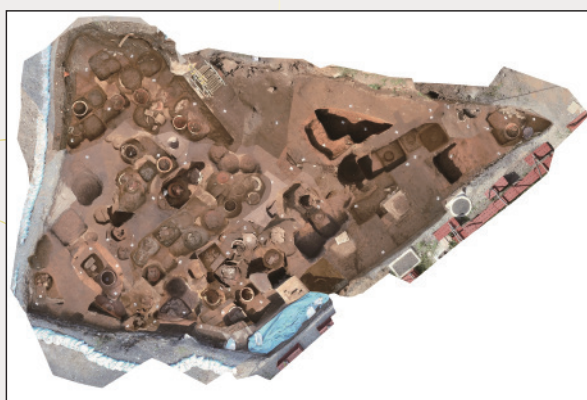
しかし、旗本家に残された史料というものがたいへん少ないこともあり、旗本の仕事の具体的な内容や旗本のくらしのようすはあまり明らかになってきませんでした。

今回の企画展では、東京都公文書館が所蔵する旗本家の記録資料や、明治政府が調査・作成した旧旗本家の屋敷絵図等をご紹介しますながら、都市江戸に住まうこととなった旗本のライフスタイルに光を当てていきます。

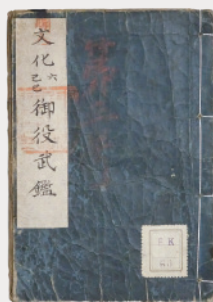
【構成】第1章 旗本とはなにか？ 第2章 旗本の仕事
第3章 旗本のくらし 第4章 旗本の墓



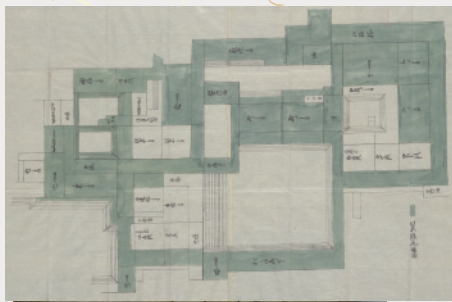
御城内御破損御見廻絵図



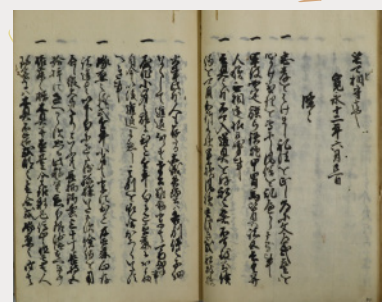
掘り出された旗本寺長龍寺の墓域 東京都教育委員会提供



文化六己巳御役武鑑



御座敷大名衆通路色分絵図



御当家令條 仁 一より七迄

令和5年度企画展「旗本のライフスタイル～家と仕事と私」関連講演会

■ 日時：令和5年8月25日（金）午後1時30分から ■ 会場：東京都公文書館 研修室

「旗本屋敷図を読む ～旗本の出世と住み替え」

崇城大学工学部建築学科准教授

小粥 祐子 氏

「身分制都市江戸の墓制 ～旗本墓を中心に」

東京都公文書館

西木 浩一

■ 募集定員：60名（参加費無料） ■ 募集開始：令和5年8月1日（火）から（先着順）

応募方法は東京都公文書館ホームページ「展示・講演会」をご覧ください。

URL https://www.soumu.metro.tokyo.lg.jp/01soumu/archives/04tenji_kouen.htm#m2

